

出版情報

書名・件名	厚生白書(昭和35年度版)
副書名	福祉国家への途
編集者・監修者	厚生省
所在地	東京都千代田区霞ヶ関1-2-2
国名	日本
郵便番号	100-0013
電話番号等	03(3503)1711
発行日	昭和35年1月10日発行
価格	270円

厚生白書の発表に際して

厚生省におきましては、これまで所得保障および医療保障を中心として、各種の福祉施策、公衆衛生諸施策などを推進してまいりまして、ほぼ社会保障制度の骨格を整えたのでありますが、なお不じゅうぶんな点が少なからず存し、今後の努力にまつべきところが多いと存じております。ところで、近年、わが国の経済が目ざましい躍進をとげつつあることは、あまねく人の知るところであります。この輝かしい成果が国民の全体にひとしく及ぶように不断の努力を重ねなければならないと思ひます。もしも、その成果のかけにとり残されている人々があるとすれば、わたくしたちは、これを看過するわけにはいきません。このような状態を一刻でも早く解消していこうというのが、福祉国家の建設をこころざす国民の願ひであり、政治の目標だからであります。経済の発展がそのまま、国民一人一人の福祉につながるところにこそ真に福祉国家として完成されていく国の姿が見られるというべきでありましょう。このような福祉国家の建設に重大な責任を負っているのが、ほかならぬ社会保障制度なのであります。

今回の厚生白書(昭和三五年度厚生行政年次報告書)におきましては、最近のはなばなしい経済の発展のもとにおける国民生活の諸相をながめ、繁栄のかけににまだ陽のあたらぬ場所があることを見だし、社会保障制度がこれらの問題を解決するため、経済の発展と関連しながら、今後どのような方向に進み、どのようにこれに対処すべきであるかについて述べたつもりであります。

政府におきましては、公共投資や減税とならんで社会保障の推進を最重要施策として掲げ、今後、社会保障の発展にあらゆる努力を傾注することを表明してはありますが、わたくしは、それを名実ともに実り多きものとするには、かかつて国民の理解と協力にあるものと確信するものでありまして、今後とも厚生行政の進展に国民各位の絶大な支援をお願い申し上げるしだいあります。

昭和三五年一二月二日 中山 マサ 厚生大臣